

平成 23 年度事業報告書

社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボは、奈良の文化・歴史・地域産業等についての調査研究活動ならびに各種の文化教室・生涯学習講座および健康福祉の施設運営について広く地域社会に公開するとともに、地域の文化事業を支援することにより地域活性化に貢献することを目的としている。平成 23 年度事業実績は以下の通りである。

(A) 総括

1. 「からだの健康づくり講座」及び「こころの健康づくり講座」等に関する企画運営事業

<奈良ウェルネス倶楽部の運営>

○講座運営

受講件数

- ・前期：平成 23 年 4 月 1 日 **3,161 件** ⇒ 平成 23 年 9 月 30 日 **3,131 件**
- ・後期：平成 23 年 10 月 1 日 **2,963 件** ⇒ 平成 24 年 3 月 31 日 **3,037 件**
(平成 24 年 5 月 26 日現在 **3,224 件**)

販促活動

【前期：4 月～9 月】

- ・講座紹介冊子「ALTE」創刊 9,000 部
- ・タウン誌レジオン、マイタウンへの広告掲載
- ・近隣の近鉄沿線に駅貼りポスター
- ・新聞広告掲載 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

【後期：10 月～3 月】

- ・新聞折込募集チラシ 9/5 16.7 万部配布

○地域貢献活動

第 4 回奈良ウェルネス倶楽部フェスティバル開催（復興支援フェスティバル）

- ・期間：9 月 10 日（土）～9 月 11 日（日）2 日間
- ・来館者数：700 名
- ・実施内容
 - ◇バザール：14 ブース（10 講座、4 外部） ◇体験会：11 講座
 - ◇ギャラリー展示：10 講座 ◇パフォーマンス：10 講座 ◇屋台：10 店舗
- ・復興支援金：264,127 円（十津川村役場 50,000 円、いわて三陸復興食堂 214,127 円）

○情報発信の強化

- ・ホームページをリニューアル。さらにフェイスブックやツイッターを開始し、ホームページと連動させてウェルネス倶楽部に関する情報発信を強化。
- ・平成 23 年 3 月 30 日 特別講演「『古事記』と海の神」
講師 千田稔(奈良県立図書情報館館長)

○受講生への聞き取りを開始

- ・講座運営に活かすために受講生への聞き取りを開始。それを元に講座開発を行う。

2. 地域社会に貢献するための経済・政治・文化ならびに諸制度に関する調査研究

○ 奈良公園周辺施設勉強会の開催（平成 23 年 6 月～現在）

県・市・事業者(公園周辺商業施設)による共同研究会

○ 奈良県庁南部振興スローライフ事業の現地調査参加

(奈良県庁・川上村・下北山村・NPO スローライフジャパン・SSL)

○ 大和川清流復活ネットワーク「よみがえれ！大和川清流復活大作戦」の広報活動に協力

(運営：奈良県くらし創造部 景観・環境局 環境政策課／土木部 河川課／土木部まちづくり推進局 下水道課)

http://www.yamato-river.net/report_article572.html

○ 産経新聞コラム(奈良県版)「おさんぽ日和」毎週水曜掲載

SSL 研究員による奈良観光広報活動の調査と広報（掲載期間平成 23. 2 月～現在）

○ NHK カルチャー梅田教室「大和路に行く」毎月第 3 土曜日

SSL 研究員を講師派遣(平成 23 年 4 月～現在)

○ 奈良ひとまち大学（主催：奈良市生涯学習財団）

SSL 研究員を講師派遣(平成 23 年 8 月 27 日)

3. 伝統的日本文化の行催事等慣習・風俗・歴史の研究・保存・伝承並びに地域の行催事支援

○ 国立民族博物館 国際フォーラム「東アジアの光と影 健康・富裕・餓鬼」後援

(平成 23. 9. 8～平成 23. 9. 10)

奈良県における渡来文化の研究報告とシンポジウムを支援

○ 奈良県立図書情報館「雅楽の大型太鼓『鼙太鼓』展」(平成 24. 1. 31～2. 26)

伝統文化・雅楽の振興のためのパネル展も同時開催

○ なら芝能 協賛支援(平成 24. 3. 17 開催)

芝能は特別に舞台を設けず、自然そのものを舞台として演ぜられる全国的にも珍しい原始的演能であり、その伝統の継承と普及をしている「NPO 法人奈良能」への支援活動として協賛

○ いわて三陸復興食堂の支援について SSL が実行委員会の結成と支援

・復興食堂 in 代官山(平成 23 年 7 月 30. 31 日)東京 奈良県旧代官山 i スタジオ

・いわて三陸復興の絆キャラバン(平成 24 年 3 月 4 日)奈良 橿原公苑(奈良食祭 2012)

4. その他活動

- 定性リサーチサービス研究会（平成 22. 10. 01～現在）
企業内あるいは企業向けの定性調査の実践者に向けた日本独自の教育プログラムの開発について、京都大学日置研究室と共同調査

5. 寄付金、協賛金等

社団法人の事業運営については奈良ウェルネス倶楽部の事業を厚生労働省所管の旧なら社会保険センターから継承した平成 19 年度設立以来、継続して支援して頂いている 1 法人より、平成 23 年度は 5, 000 千円を寄付金として受領

(B) 会議等

平成 23 年

5 月 13 日 社員総会開催

5 月 13 日 理事会開催

11 月 29 日 奈良ウェルネス倶楽部講師打合せ会

(C) 会員数

平成 24 年 3 月 31 日現在

個人会員	24 名
法人会員	7 名
計	31 名

以上